

医学部医学科の教育理念・目標

医学部医学科は、ポンペの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。もしそれを好まぬなら、他の職業を選ぶがよい。」を建学の基本理念とし、卒業生に以下の学修成果を身につけることを教育目標としています。

- ・豊かな人間性と高い倫理観を持ち、良好な人間関係を構築できる能力
- ・医学・医療の基本的知識と技能を有し、チームの一員として診療に参加できる能力
- ・医科学領域における課題探求・解決能力を有し、論理的思考ができる能力
- ・グローバルな視点を有し、地域社会および国際社会に貢献できる能力

この教育目標を達成すべく、以下に挙げる3つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

医学部医学科のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

- ・倫理観とプロフェッショナリズム：自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理・研究倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。
- ・医学・医療に関連する知識：医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探究し、適切に問題解決できる。
- ・医療の実践：医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力（統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力）を有し、適切な診療計画を立てることができる。
- ・コミュニケーション技能：人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人との良好な人間関係を構築できる。
- ・地域医療・社会医学・国際性：医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。
- ・科学的探究：医学研究の必要性を理解し、研究に参加するとともに、科学性および医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。

と認められた者に対し、学士（医学）の学位を授与します。

医学部医学科のカリキュラム・ポリシー

全ての科目で、全てのディプロマ・ポリシーを、学年を経るごとに、基本的なレベルから高度なレベルまで段階的に学びます。

- ・ 入門科目で、医学に関連する基礎的知識や長崎大学医学部医学科の歴史などを学びます。
学修の到達度は、主に筆記試験やレポートにより評価します。
- ・ 専門基礎科目で、卒業時学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す基本的知識・技能・態度を学びます。
学修の到達度は、主に筆記試験やレポートにより評価します。
- ・ 専門科目で、卒業時学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す高度な知識・技能・態度を学びます。
学修の到達度は、主に筆記試験やレポート、シミュレーションテスト、観察記録などにより評価します。
- ・ 発展的専門科目で、学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す、知識・技能・態度の統合的実践能力を養います。
学修の到達度は、主に授業への参加度や実地試験、振り返り、レポート、観察記録などにより評価します。
- ・ 他専攻との共修科目により、医療・保健・福祉の多職種連携・協働のあり方を学ぶとともに、必要な協調性やリーダーシップを養います。
学修の到達度は、主に観察記録やレポートを通して評価します。
- ・ 医と社会について学ぶ科目により、医療・保健・福祉と社会の関係や倫理観、良好なコミュニケーションの構築などについて主体的に考える力を養います。学修の到達度は、主に授業への参加度により評価します。
- ・ 地域医療や国際社会に関する科目により、グローバルな視点、地域社会および国際社会に貢献できる能力を養います。
学修の到達度は、主に授業への参加度やレポート、観察記録、実地試験により評価します。

科目に関する別表

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
		倫理観とプロ フェッショナル リズム	医学史・原爆医 学と長崎	医と社会 医学総合セミナー	医と社会 診療の基本 医学総合セミナー
医学・医療に 関連する知識	医科生物学入門 医学統計学	正常構造と機能 疾患総論	正常構造と機能 疾患総論 疾患各論 診療の基本	臨床実習	
医療の実践			診療の基本	臨床実習	
コミュニケーション 技能		医と社会	医と社会 診療の基本	臨床実習	
地域医療・社 会医学・国際 性	医学史・原爆医 学と長崎	医学総合セミナー 医学英語	医学・医療と社会 医学総合セミナー	臨床実習	
科学的探究	医学統計学	基礎研究実習 医学総合セミナー	基礎研究実習 医学総合セミナー 診療の基本	基礎研究実習	

医学部医学科のアドミッション・ポリシー

医学科では入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
 医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
 専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- ・ 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナルリズムを認知して、強い目的意識と高い志を持つ。また、その実践のために必要な思考力、判断力を有する。
- ・ 生命の尊厳を重んじ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- ・ チーム医療への貢献のために必要な協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと強い責任感を有する。
- ・ 広く生命科学分野への探求心を有し、さらに、社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- ・ 地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表(求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○))

選抜方法等		求める資質等 (学力の3要素)	基礎学力 (知識・技能)	読解力・表現力 (知識・技能) (思考力等)	コミュニケーション能力 (思考力等)	思考力・判断力・ 表現力 (思考力等)	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心 (主体性等)
一般 選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		調査書					○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	◎			○	
	推薦書	○				○	○
	志望理由書					○	○
	調査書	○					○
	面接				◎		◎
外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○			○	
	個別学力検査	○	◎			◎	
	面接				◎		◎